

目標達成計画

作成日: 平成 23年 12月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	【馴染みの人や場との関係継続の支援】 併設施設も含め、地域の方々にご来所いただき交流する機会は定期的に行っていたが、入居者が地域の中の行事やイベント等に出かける機会がなく、ホーム外での馴染みの関係作りが行えていなかった。	ホーム外に出かけ、地域の行事であるお祭りやイベントに参加する。	運営推進会議にて自治会長、民生委員の方々との協議し、地域に中で行われる行事やイベント等の情報をいただき、入居者の方々が参加できるよう支援する。	6ヶ月
2	23	【思いや意向の把握】 現在、使用しているアセスメントシートの内容では、ご本人、ご家族のニーズを把握しきれしていない。	現状では、ご本人の生活歴や生きがい、趣味活動等についての情報を整理するための項目が少ないため、アセスメントシートの内容を見直し、詳細に記載できるよう工夫する。	施設長、管理者、計画作成担当が中心となり、現在使用中のアセスメントシートについて評価する。その結果に基づき、ご本人、ご家族のニーズが詳細に把握でき、かつ見やすい内容に修正する。	3ヶ月
3	26	【チームで作る介護計画とモニタリング】 介護計画の内容について、課題や問題抽出型となっており、プラス面の介護計画が少ない。	ご本人、ご家族のニーズを把握し、生きがいや趣味活動等を活用した前向きな介護計画を作成する。	アセスメントシートの内容の見直しを行うことで、より一層の情報収集が可能になる。また、介護計画作成時の視点として、ご本人の生きがいや趣味活動等から計画作成ができるように、計画作成担当に情報が集約するよう業務内容を修正する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。